

# まちの話題



ISA City Topics



## おめでとうございます

9/27



大口中央中学校の生徒が教育長を表敬訪問し、夏季に行われた大会の成績報告と今後の活躍を誓いました。

- 第 26 回鹿児島県中学校夏季ソフトテニス研修大会 2 年女子団体準優勝  
今吉菜緒さん・川原咲蘭さん・岩永愛美さん（前列左から）
- 茨城国体（9/28～10/8）及び第 50 回ジュニアオリンピック陸上競技大会（10/11～13）出場  
住吉璃音さん（後列中央）

## ライバルに初勝利

10/16



錬心館菱刈支部の林嵩翔さんが市長を表敬訪問し、第 73 回鹿児島県民体育大会空手道競技高校軽量級の部で優勝したことを報告しました。

林さんは「決勝戦は 10 年来の友人でありライバルでもある選手と戦いました。冷静に相手の動きを見極めて、彼に初めて勝つことができました。今後も勝てるよう練習を頑張ります」と話しました。

10/13

## 市民体育祭（表紙）

さわやかな秋晴れのもと、伊佐市民体育祭が開催されました。

プログラム競技には延べ 1,533 人が参加し、地域の代表選手の全力プレーに、校区テントの観客からは大きな声援と拍手が送られました。

- 優勝 羽月校区
- 2 位 大口東校区
- 3 位 湯之尾校区



## 災害発生時の 相互応援協定締結

9/19



伊佐市水道事業は始良地区（霧島市・始良市・湧水町）の水道事業と「始良・伊佐地区水道施設災害発生時の相互応援協定」を締結しました。

この協定により、災害による水道施設の異常が発生した場合には、始良地区の水道事業から必要な物資、資機材などの提供や応援措置に必要な職員の派遣を受けることができる体制が整いました。

今後も安全な水道水を安定して送りつづけるように努めてまいります。

## 選挙出前授業

9/19



大口高校生徒会長選挙を模擬選挙とする選挙出前授業が開かれました。

これは、高校生に選挙に関心をもってもらうための取組で、市明るい選挙推進協議会長の福田岫盛さんと市選挙管理委員会が大口高校を訪問し、選挙の仕組みや投票所での注意点についてわかりやすく説明しました。

その後、実際に選挙で使われている投票箱を使い、生徒会長選挙の投票が行われました。

## 戦争体験を語り継ぐ

9/25



山野小学校6年生13人が平和学習として戦争体験について学びました。

74年前、種子島の学童を受け入れたご家族の中村貞幸さんが語り部を務め「疎開してきた子どもたちが寂しい思いをしないように一緒に遊んだり、芋を分け合っておなかを満たしました。絶対に戦争をしてはいけないと思いました」と当時の様子を語り、児童はメモを取りながら真剣な表情で話を聞いていました。

6年生は10月8日から修学旅行で種子島を訪れ、西之表市立下西小学校の児童と交流し、当時伊佐に疎開を経験した人のお話も聞きました。

## やってみよう！ 脳と体をきたえるコグニサイズ！

9/28



大口ふれあいセンターで「やってみよう！脳と体をきたえるコグニサイズ！」をテーマに介護予防講演会を開催しました。

講師に鹿児島大学医学部教授・牧迫飛雄馬先生をお招きし、161人が参加しました。

運動と認知課題を組み合わせた実践を交えながらの90分は、参加者の笑い声が響く楽しい時間となりました。参加者からは「サロン活動に取り入れたい、毎日やってみようと思う」などの声が聞かれました。

自立した生活を長く続けていくために、脳と体に刺激のある生活を心がけていきましょう。



## 大口南4小学校の交流学習

10/3



羽月・羽月西・曾木・針持小学校の5・6年生の児童が羽月小学校に集まり、交流学習会を行いました。

これは大口中央中校区小中一貫教育の一つで、大口中央中学校の下八尻孝二教諭が5・6年生42人に対し「ゼロより小さい数」の授業をしました。

丸目朋弥さん・沖田朝陽さん（針持小）は「いつもよりクラスメイトが多くて緊張したけど、中学校の勉強は楽しそうだった」と笑顔でした。

## 災害に備える

10/2



市は、社会福祉法人啓明福祉会及び社会福祉法人ひまわり福祉会とそれぞれ「災害時に要配慮者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定」を締結し、市長及び水間信寿理事長、富永あつ子理事長が協定書に調印しました。

この協定により、災害時の避難において特別な支援が必要となる高齢者や障がい者などの要配慮者が民間社会福祉施設を使用できるようになり、より安心なまちづくりに繋がる事が期待されています。

## 新米まつりの チラシ作りました！



伊佐の高校生によるまちおこし団体「つながりプロジェクト」のメンバーが、新米まつりのチラシを作成しました。

「どこで新米を買えるのか宣伝したい」というメンバーからの発案に、地域おこし協力隊の小仲さんが協力して実現しました。

代表を務める松元きららさんは「ポップで、元気で、かわいいをテーマに、自分たちで新米販売店の取材を行い、チラシのデザインを話し合いました。シンプルできれいな配色のチラシをつくれました」と話しました。

チラシは、広報いさ10月15日号と一緒に配布されました。

## 防犯に努めましょう

10/11



市民に犯罪被害の防止を啓発するため、全国地域安全運動の伊佐地区出発式が大口元気こころ館駐車場で行われました。

出発式には、伊佐警察署の関係者や地域安全モニターなど約150人が参加しました。

一日警察署長を務めたイーサキングは「地域の防犯意識を高め、市民が安心して生活できるまちをつくっていきましょう」と呼びかけ、パトロールに向かうパトカーや青パトに出発の合図を送りました。

### 【防犯功労者表彰】

・羽柁田博信さん ・今村謙作さん

### 【防犯優良団体表彰】

・羽月西校区安全見守り隊